

内外の化学繊維生産動向

- 2008年 -

2009年1月29日
日本化学繊維協会

本資料の2008年の数値は、至近の発表値をもとに日本化学繊維協会
で推定したものです。

1. 世界の繊維生産

表-1 世界の主要繊維の生産

(1000ト)

	全繊維	化学繊維		綿	羊毛	絹	
		合繊	セルロス				
2002	50,726	30,038	27,913	2,125	19,323	1,268	97
2003	53,467	31,419	29,163	2,256	20,720	1,227	102
2004	61,689	34,149	31,694	2,456	26,204	1,220	115
2005	60,234	34,485	31,892	2,593	24,398	1,218	133
2006	65,792	37,778	35,080	2,698	26,635	1,234	145
2007	68,540	40,953	37,938	3,015	26,229	1,202	156
2008	65,093	39,607	36,818	2,789	24,170	1,160	156
08/07(%)	-5.0	-3.3	-3.0	-7.5	-7.9	-3.5	0.0
構成比(%)	100.0	59.7	55.4	4.4	38.3	1.8	0.2

日本化学繊維協会推定

綿、羊毛は季節年度

- 2008年の世界の主要繊維生産（推定）は前年比5%減の6,510万トで、2005年以来の減少となった。綿は8%減、化学繊維は3%減であった。
- 天然繊維については、綿はバイオエタノール作物との競合もあり、米国を筆頭に、中国、インド、ウズベキスタン、ブラジルといった主要国が軒並み減少となり、前年比8%の減少が見込まれている。羊毛は、干ばつの影響が続き最大生産国のオーストラリアが減少となり、他国も減少見込みであることから世界全体では4%減となる見込みである。
- 化学繊維は前年比3%減の3,960万ト。うち合繊（オレフィン繊維を除く）は3%減の3,680万ト。セルロス繊維（アセテートウを除く）は8%減の279万ト。レーヨンブームは終了し、7年ぶりの減少となった。
- 化学繊維の3.3%減は、世界的に景気が停滞した1982年の6.7%減以来の大きな落ち込みである。化繊生産はオイルショックの影響で1975年に6.4%減となり、2008年は戦後3番目の落ち込み幅となる。合繊では2番目の落ち込みである。国・地域毎に差はあるものの、総じて8月以降に落ち込みが加速している。

図-1 世界の主要繊維の生産

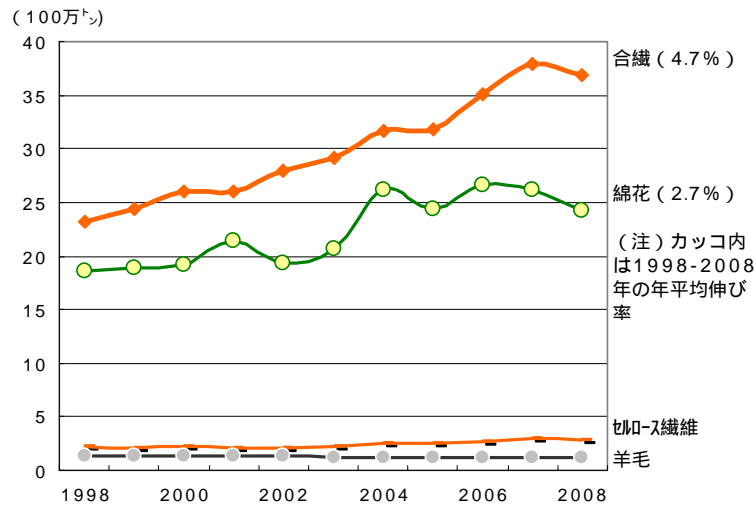
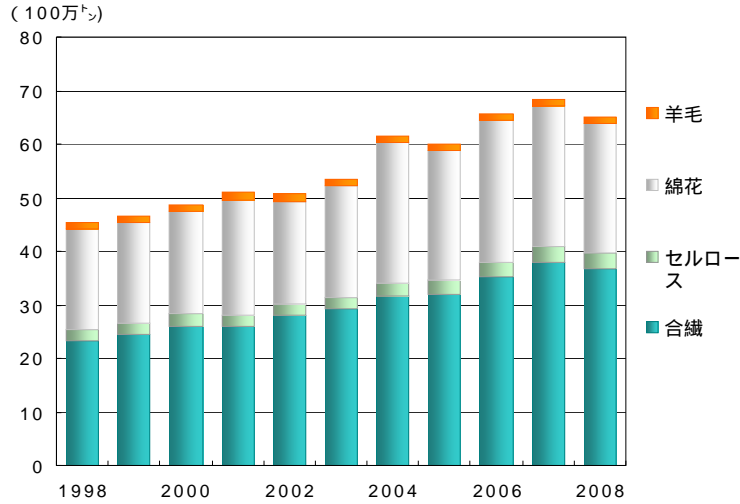
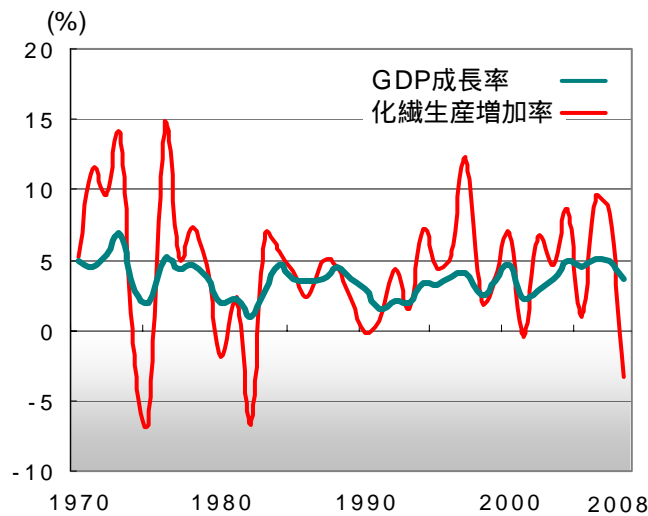


図-2 世界のGDP成長と化繊生産増加率



(出所) IMF(GDP) (注) 化繊生産増加率は前年比増加率

2. 世界の化学繊維生産

- 主要国・地域別に化学繊維生産をみると、14年連続で前年比2桁増を続けていた中国は前年比2%増にとどまった。インドは8%減で、3年ぶりの生産減。日本、台湾、米国、西欧は2桁減であった。これらの地域は2000年以降、生産減を続けていたが、2008年は減産幅がさらに拡大するものとなった。

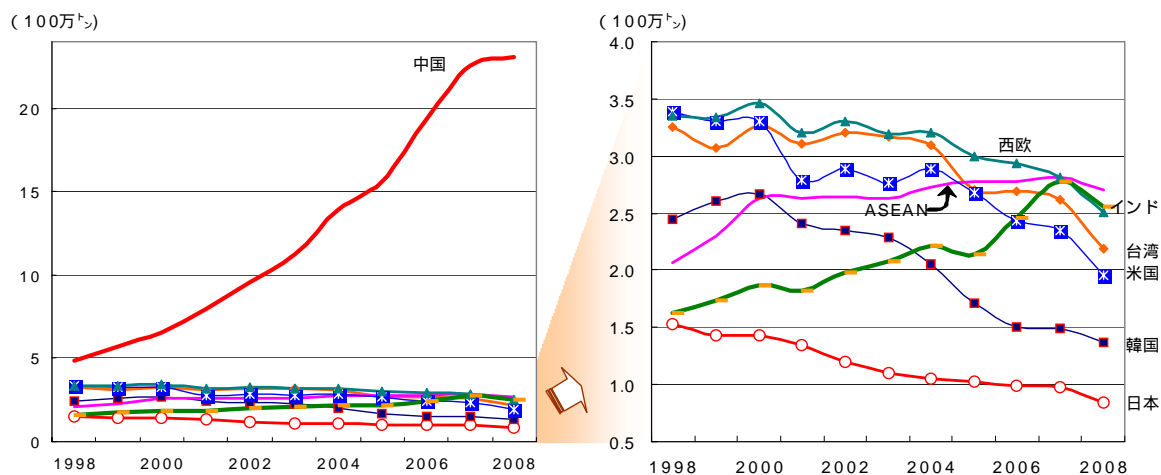
表-2 主要国・地域の化学繊維生産(2008年)

地域	ポリエステル		ナイロン S+F	アクリル S	合 織 計	セロース 計	化 織 計	構成比 (%)
	フィラメント	スチープル						
日 本	244 -6.9	191 -6.2	114 -6.2	145 -38.7	771 -14.5	70 -2.8	840 -13.6	2.1
韓 国	683 -3.7	494 -7.8	131 -9.5	49 -4.8	1,357 -8.2	9 -3.4	1,366 -8.2	3.4
台 湾	1,045 -15.1	499 -14.3	418 -17.4	93 -32.1	2,074 -16.4	116 -14.9	2,190 -16.3	5.5
中 国	12,584 4.0	7,233 4.0	1,017 3.6	606 -25.4	21,678 2.8	1,358 -7.2	23,036 2.2	58.2
ASEAN	1,194 -4.5	876 -3.5	125 -5.0	94 -5.0	2,299 -4.1	400 -5.0	2,698 -4.3	6.8
インド	1,305 -6.5	765 -11.8	94 -1.7	76 -4.3	2,239 -8.2	317 -7.1	2,557 -8.0	6.5
米 国	416 -10.9	660 -15.6	753 -19.7	0 0.0	1,939 -16.4	23 -8.0	1,962 -16.3	5.0
西 欧	460 -19.6	470 -10.2	463 -9.7	650 -8.0	2,070 -12.5	435 -3.7	2,505 -11.1	6.3
世界計	18,548 -0.4	12,147 -1.5	3,602 -8.6	2,018 -17.6	36,818 -3.0	2,789 -7.5	39,607 -3.3	100.0

(注) 1. 上段は生産量、下段は前年比(%) 2. 推定を含む
3. オレフィン繊維、アセテートトウを含まない

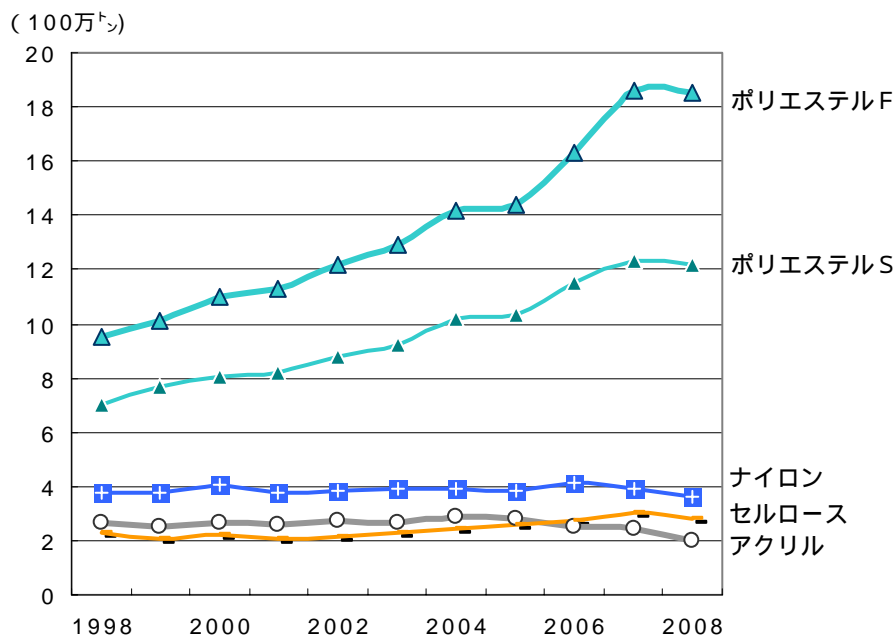
- 中国は失速したものの、他国・地域が減少を続けているため、世界に占める割合は前年の55%から2008年は58%に拡大した。

図-3 世界の主要国・地域の化織生産



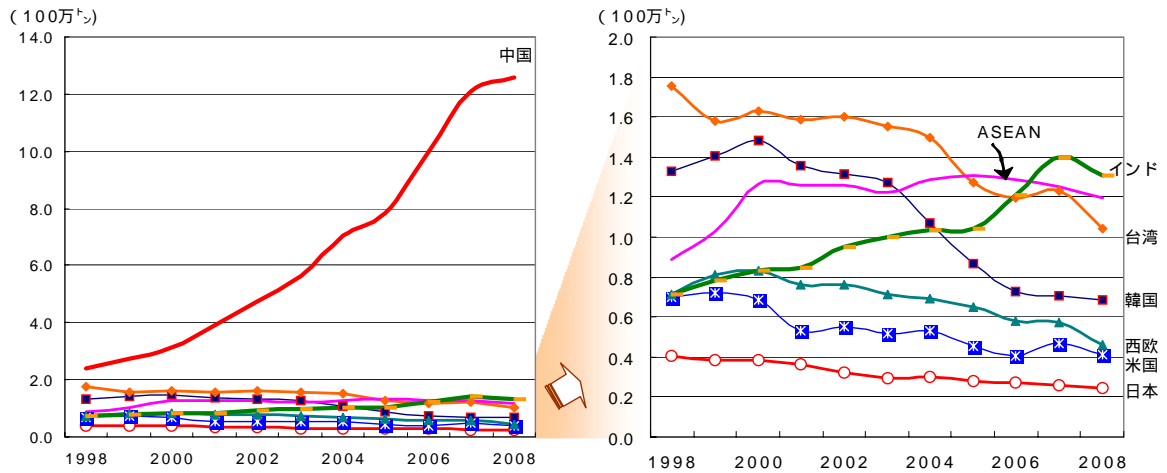
- 韓国は8年連続の減少。昨年はリストラの一段落で一服したが再び落ち込んだ。台湾は16%減と大幅な落ち込みで、6年連続の生産減。ASEANは国により斑模様だが全般では減少となった模様。米国は昨年引き続きいくつかの工場閉鎖があり16%減と台湾と並ぶ大幅な減少となった。西欧はポリエステルを中心に全般に不振で11%減であった。
- 主要品種別では、ポリエステルは、フィラメントが前年比0.4%減の1,850万ト、ステープルが1.5%減の1,210万トであった。現状の推定ではフィラメント、ステープルをあわせると0.8%の微減となるが、ポリエステルが減少するのは1982年以来のことである。
- ナイロンは9%減の360万ト。フィラメント、ステープルともに減少となった。近年は400万ト前後で横ばいを続けていたが、1994年以来の360万ト台に減少した。
- アクリルSは18%減の202万ト。他素材との競合激化もあり、主要品種で最大の落ち込み。セルロース繊維は、フィラメント、ステープルともに減少し、全体では8%減の279万トであった。

図-4 世界の主要化繊品種の生産推移



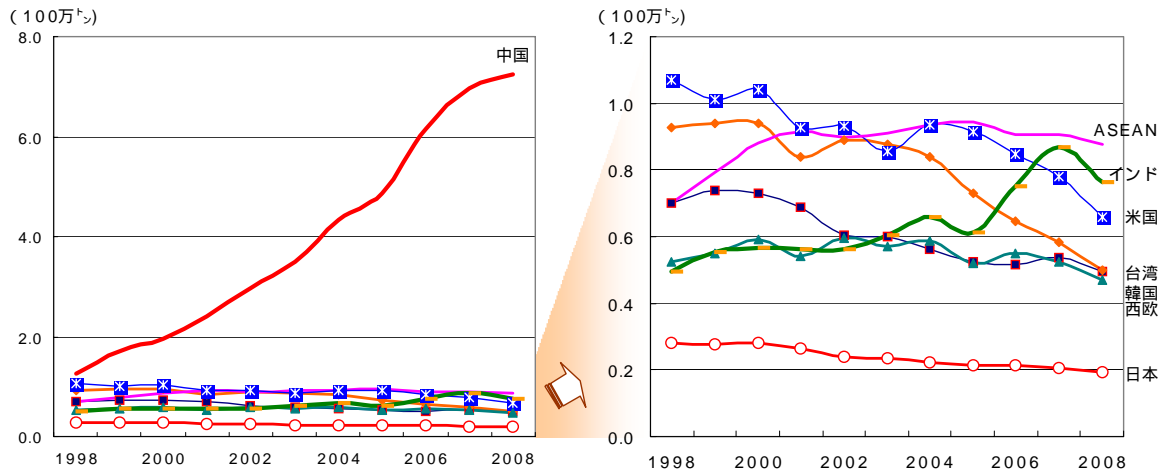
- ポリエステルF：前年比0.4%減の1,850万ト。世界の68%を生産している中国が4%増と失速。拡大を続けていたインドは減少に転じた。台湾は設備削減もあり15%の大幅減。同様に設備削減のあった韓国は4%減。米国、西欧は2桁減であった。ASEANも減少した。

図-5 世界の主要地域別ポリエステルF生産



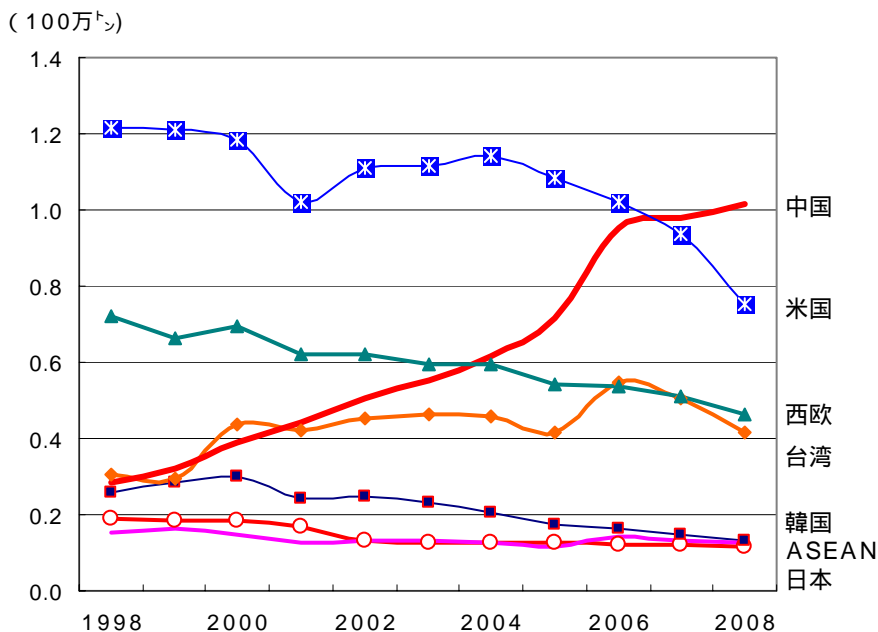
- **ポリエステルS**：前年比1.5%減の1,210万ト。中国が4%増と失速。インドは12%減と3年ぶりの減少。米国は16%減の66万ト。大手メーカーが撤退を決定した。台湾は大幅な設備削減、輸出の減少が響き14%減で4年連続の2桁減。西欧、日本、韓国、ASEANも減少した。

図-6 世界の主要地域別ポリエステルS生産



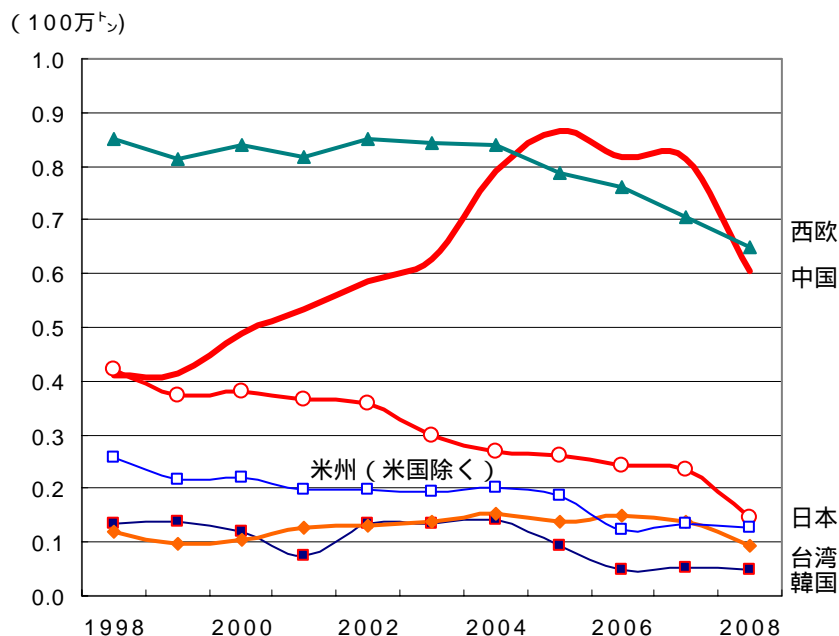
- **ナイロン**：前年比9%減の360万ト。中国は4%増の102万トと失速。米国は全体の8割強を占めるカーペット用の不調が続き、工場閉鎖もあり5年連続の生産減となった。輸出の減少もあり、韓国、台湾も減少となった。

図-7 世界の主要地域別ナイロン生産



- アクリルS：前年比18%減の209万トで4年連続の減少。原料価格高騰で素材代替が進展し需要が減退した中国は25%減の大幅減。西欧は8%減で6年連続の減少。輸出の不振から、日本、台湾はそれぞれ39%、32%の大幅減であった。

図-8 世界の主要地域別アクリルS生産



(注) 日本は2000年までフィラメントを含む

3 . 日本の化学繊維生産

- 2008年の日本の化学繊維生産は107万ト(速報値。オレフィン、アセテートトウを含む)、前年比10%減であった。合繊が減少した一方、セルロース繊維は増加となった。化繊生産が前年比2桁減となるのは、1975年以来のことである。

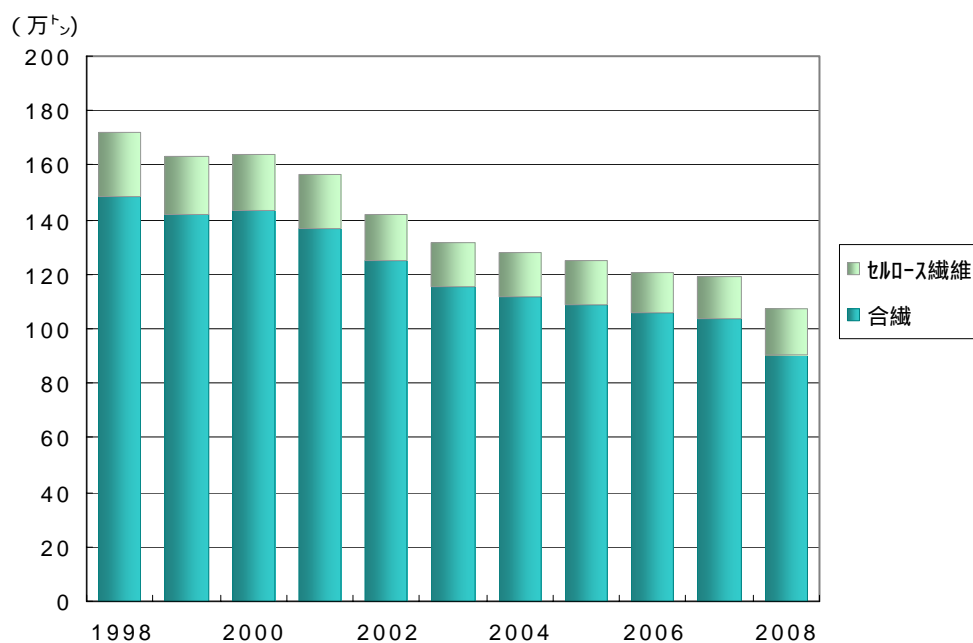
表-3 日本の主要化学繊維の生産

	2005	2006	2007	2008	08/07%
ポリエステルF	281.8	269.9	261.6	243.6	-6.9
ポリエステルS	213.9	213.3	203.8	191.0	-6.3
ナイロンF	117.9	117.5	116.5	112.0	-3.9
アクリルS	261.4	242.9	236.4	145.0	-38.7
ポリプロピレン	125.5	127.4	126.6	126.3	-0.3
合繊計	1,090.7	1,060.7	1,034.6	903.4	-12.7
レーヨンS	35.8	36.2	41.4	39.2	-5.1
アセテート	107.4	97.3	101.1	111.9	10.7
セルロース計	158.7	148.5	158.3	167.2	5.6
化繊計	1,249.3	1,209.2	1,192.8	1,070.6	-10.3

(出所) 経済産業省。08年は速報値。

(注) オレフィン、アセテートトウを含む。

図-9 日本の化繊生産



- 合成繊維の生産は同13%減の90万トで8年連続の減少。1969年以來の100万ト割れとなった。ポリプロピレンSが微増、ビニロンSがほぼ横ばいとなったほかは、主要品種が軒並み減少した。アクリルは中国向け輸出の減少等から39%と大幅減。

- セルロース繊維の生産は16.7万ト、同6%増。レーヨンSは5%減で3年ぶりの減少。輸出の好調でアセテートS（トウ）が15%増の9.8万トで過去最高の生産となった。

図-10 日本の主要合繊生産

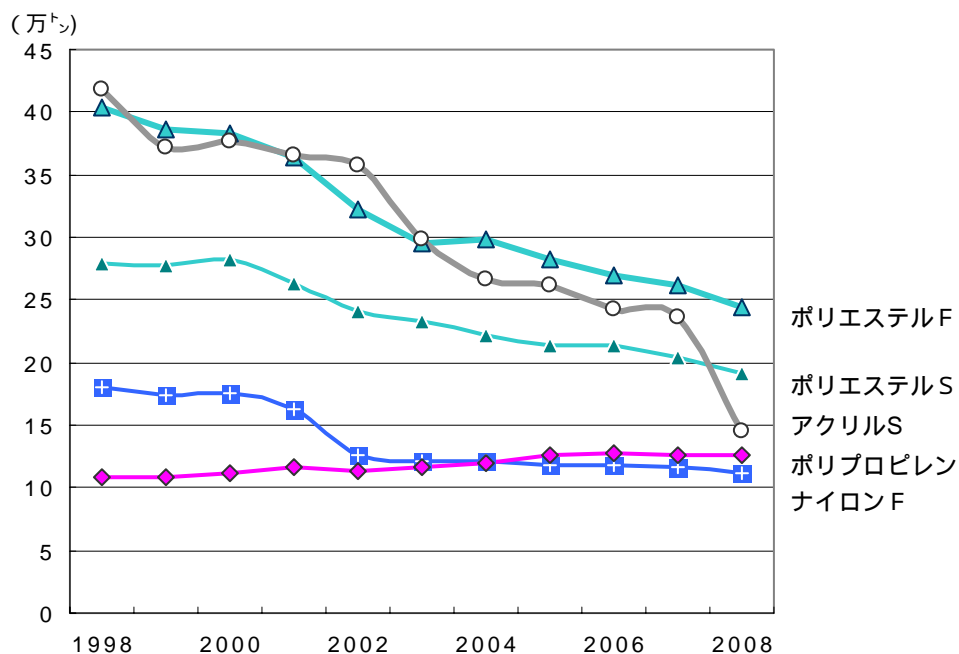


図-11 日本の主要セルロース繊維生産

